

## 令和5年度通常総会会長挨拶（令和5年5月29日開催）



会長

（藤枝市立総合病院 藤枝市病院事業管理者）

毛利 博

本日は、ご多忙の中、お集りいただき誠にありがとうございます。令和5年度静岡県病院協会通常総会を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、幸い大きな感染爆発はなく経過しておりますが、まだまだ油断できない状況にあると考えております。医療は大きな転換点を迎えています。地域医療構想の更なる深化が求められており、来年度からの働き方改革の実施など考慮しながら、人口減少社会に対応した医療提供体制の新たな道筋を模索し、さらに医師の地域偏在、診療科偏在と併せて検討しなければならず、解決すべき問題が山積しております。

子どもの出生数は、年間で、ついに80万人を切ったということです。国の予測では10年くらい早いスピードだと聞いていますので、これから少子高齢化がますます進み、やはり2040年位から急に人口減少の世界に入っていくということが考えられます。そのような状況下においても、私たち病院を管理する者とすれば、様々な事態を予測しながら自院をどうしていくか、連携をどうするかをしっかりと各地域で議論していただいて、患者さんが安心して医療が受けられる医療体制を構築できればと思います。

最後に、本日ご参集の皆様におかれましては、ご健勝で益々のご活躍されることを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。